

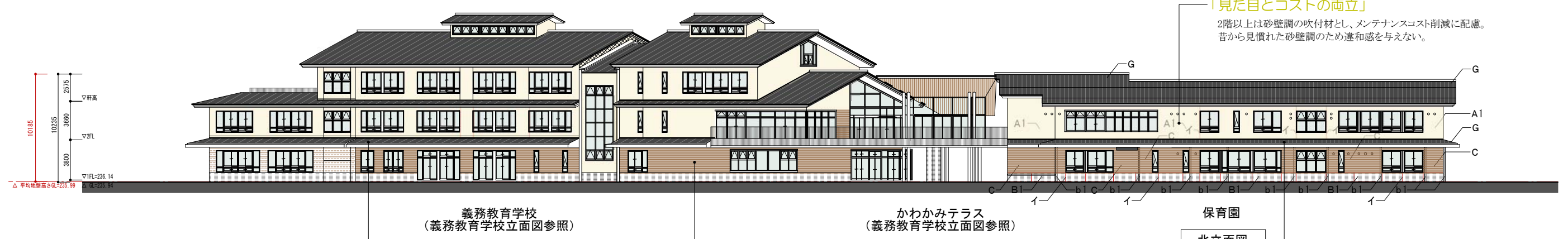


**「落ち着いた屋根」**  
耐火性能と耐久性・荷重を考慮し、金属屋根を採用。色彩は落ち着いたギンコロとする。

**「地域との調和の証」**  
地域に古くからある排煙用屋根をモチーフとした越屋根。

**「安全・安心の避難用スベリ台」**  
避難効率を上げるらせん状スベリ台を設置。消防認定品。

**「一体感を持たせるデザイン」**  
RC造校舎の1階外壁は目地などにより、凹凸を付て、下見板張りの合わせるようデザイン。

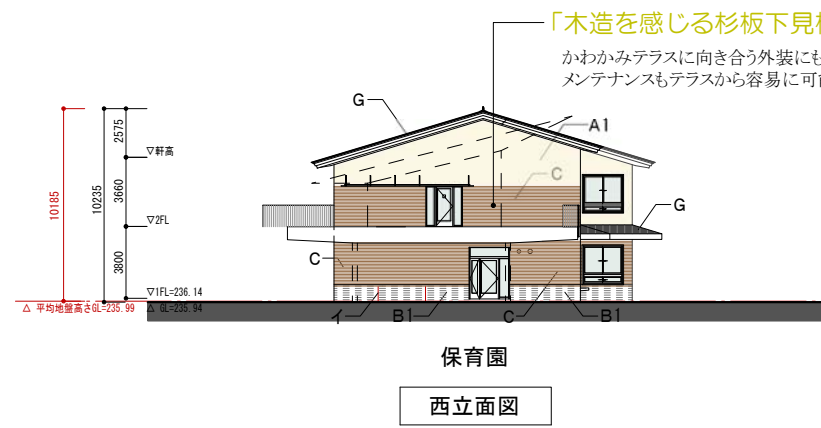


**「安定感を生み出す庇」**  
長く連続する庇で水平ラインを強調する。

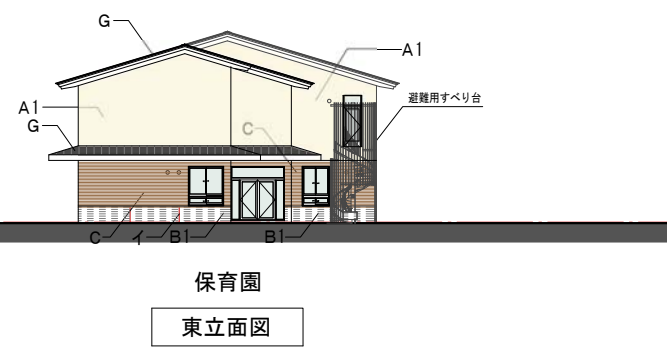
**「木造を感じる杉板下見板張」**  
1階は木造を感じることができる、昔ながらの杉板下見板張で外装を形成。補修や保護塗料塗替え等のメンテナンスのし易さに配慮。

**「見た目とコストの両立」**  
2階以上は砂壁調の吹付材とし、メンテナンスコスト削減に配慮。昔から見慣れた砂壁調のため違和感を与えない。

**「安定感を生み出す庇」**  
長く連続する庇で水平ラインを強調する。



**「木造を感じる杉板下見板張」**  
かわかみテラスに向き合う外装にも杉板下見板張を採用。メンテナンスもテラスから容易に可能。



**「木造を感じる杉板下見板張」**  
かわかみテラスに向き合う外装にも杉板下見板張を採用。メンテナンスもテラスから容易に可能。

- 外観デザインの基本方針
- ・長く親しまれる木造校舎を目指し、シンプルかつ安定感のある外観デザインとする。
  - ・連続する庇やバルコニーで水平ラインを強調し、のびやかで安定感のあるデザインとする。
  - ・外装はメンテナンスし易い1階を木板張り、上階を砂壁調の吹付材とし、耐久性やメンテナンスコストに配慮。
  - ・高さの異なる切妻屋根や越屋根により、リズム感のある裏山と呼应したスカイラインを形成。
  - ・国道に対し、切妻屋根が認識し易いように妻面を向け、木造校舎感を演出。
  - ・村道沿いに一部生垣を設けたり、国道から見える位置に木製受水槽を設置するなどの景観形成に努める。
  - ・既存体育館やプールハウスの屋根も新校舎と同色で塗り直す。
  - ・義務教育学校と保育園をつなぐ、かわかみテラスは人の動きや活動が目で見られるようにガラス箱のようなデザインとする。
  - ・地域に見られる排気用の屋根を連想させる越屋根を義務教育学校舎の上、一番高い位置に設置し、地域との調和を図る。
  - ・保育園や義務教育学校の外壁面は揃えることで、昔の木造校舎のイメージを演出。